

「東播磨医療圏の高度急性期公的病院における NICU 入院児の医療資源投入と退院時医療依存度の分析 — DPC/EF 統合データに基づく退院支援・在宅移行支援と公立中核病院の役割検討 —」について

加古川中央市民病院 臨床工学部では、当院NICUに入院した新生児の患者さんを対象に表題の研究を実施しております。本研究は、通常の診療で得られた情報を用いて行う、後ろ向き観察研究です。対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いすることはありません。本研究についてご質問がある場合、またはご自身のお子さんの情報を研究に利用してほしくない場合は、文末の【問い合わせ窓口】までご連絡ください

【研究概要及び利用目的】

本研究は、東播磨医療圏の高度急性期公的病院である加古川中央市民病院において、NICUに入院した新生児に対してどのような医療資源が投入されているか、また退院時にどの程度の医療依存があるかを、DPCデータおよびEF統合ファイルを用いて明らかにすることを目的としています。本研究により、NICU診療における医療資源投入の実態や、退院支援・在宅移行支援を必要とする患者さんの状況を把握し、今後の地域医療体制の充実および公立*中核病院の役割の検討に資することを目指します。

※公立病院：都道府県、市区町村、地方独立行政法人、地方公共団体の事務組合が設置する医療機関

【研究期間】

病院長承認日から2026年8月31日まで実施する予定です。

【研究の対象となる方】

- ①2023年度から2025年度までの期間に当院NICU・GCUへ入院した新生児を対象とします。

【取り扱うデータおよび試料・情報の項目】

本研究では、通常診療の過程で診療録等に記録された以下の情報を利用します。

■ DPC 様式 1 に含まれる情報

性別、在胎週数、出生体重、出生施設区分、主傷病名、併存疾患、入退院日、在院日数、退院先、居住地情報

■ EF 統合ファイルに含まれる情報

NICU・GCU 在院日数、人工呼吸管理、酸素療法、栄養管理、輸血等の診療行為の実施状況、出来高点数等の医療資源投入に関する情報

なお、本研究では新たに試料（血液・組織等）を採取することはありません。

【個人情報保護の方法】

研究実施に係る試料・情報を取扱う際は、個人情報とは無関係の番号を付して、研究対象患者識別番号リストを作成して、匿名化を行い秘密保護に十分配慮します。研究成果を報告する時も個人が識別されないように行います。この研究に参加していただいた患者さんの個人情報については、本研究に関わる全ての研究者が守秘義務を順守するように徹底いたします。個人情報を外部機関へ提供することはありません。患者さんの個人情報は研

究責任者が責任をもって保管します。

[試料・情報等の保存・管理責任者]

加古川中央市民病院 臨床工学部 責任者氏名：青田 恭朋

[データおよび試料提供による利益・不利益]

利益：本研究は通常診療の情報をを用いて実施するものであり、対象となる患者さん個人に直接的な利益はありません。

不利益：診療録情報のみを利用するため、患者さんに新たな身体的・経済的負担はありません。

[登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて]

本研究において取得したデータ等は、研究期間中は加古川中央市民病院において厳重に保管いたします。研究終了後も少なくとも本研究の終了報告日から5年を経過した日または本研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過したいずれか遅い日までの期間、当院内のデータベース内のみで管理し、プリントアウトや外部持ち出しは行いません。患者さん及びその家族等から研究参加辞退または同意撤回の申し出があった場合には、その患者さんに関するデータはすみやかに廃棄します。

[研究成果の公表について]

研究成果は学術目的のための論文や学会などで公表されることがありますが、その際も個人を特定できる情報は公表いたしません。

[研究へのデータ使用の取りやめについて]

いつでも可能です。取りやめの申し出を受けた場合、それ以降患者さんのデータを本研究に用いることはありません。しかし、同意取りやめの申し出された時点で、すでに研究成果が論文や学会などで公表されていた場合は廃棄できませんのでご了承願います。

[問い合わせ窓口]

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかお知りになりたい場合や患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 臨床工学部

研究責任者名：青田 恭朋

連絡先：079-451-5500